

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年6月27日(2019.6.27)

【公開番号】特開2017-217222(P2017-217222A)

【公開日】平成29年12月14日(2017.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2017-048

【出願番号】特願2016-114062(P2016-114062)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

F 0 2 C 1/02 (2006.01)

F 0 1 D 1/12 (2006.01)

F 0 1 D 15/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 9 0

F 0 2 C 1/02

F 0 1 D 1/12

F 0 1 D 15/06

【手続補正書】

【提出日】令和1年5月20日(2019.5.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

出力軸を中心に有する羽根車が回転自在に収納され、羽根車をそれぞれ正方向及び逆方向へ回転させるべく羽根車に対して圧縮気体を吹出し自在な正吹出路と逆吹出路の下流端がそれぞれ接続され、羽根車に対して回転力を作用させた後の圧縮気体を排出する排気口が形成され、羽根車に対して所定の付勢力で接触するブレーキが収納された第1室と、

正吹出路及び逆吹出路の上流端が接続され、いずれか一方へ選択的に圧縮気体が供給される正給気路及び逆給気路の下流端が接続され、ブレーキと一体でブレーキの羽根車に対する接離方向で移動自在なシリンドラが収納され、該シリンドラが正・逆吹出路の各上流端と正・逆給気路の各下流端をブレーキの付勢力により閉塞自在で且つ正・逆給気路のいずれか一方に圧縮気体が供給された場合のみ付勢力に抗してブレーキごと羽根車から離反する方向へ移動して正・逆吹出路の各上流端と正・逆給気路の各下流端をそれぞれ開放して第1室側への圧縮気体の流れを許容する第2室と、

正給気路と逆給気路の途中に両者を連通する状態で形成され、正給気路及び逆給気路を選択的に閉塞自在なブロックを移動自在に収納し、該ブロックが正給気路及び逆給気路のいずれか一方側に供給された圧縮気体の圧力により他方側へ移動して他方側のみ閉塞する第3室と

を備えたことを特徴とするエアーモーター。

【請求項2】

ブロックの正給気路側及び逆給気路側の両方に、正給気路又は逆給気路の閉塞時に第3室の壁部に係合してブロックの移動を規制し、該ブロックの閉塞側の側面を露出させるストップを形成したことを特徴とする請求項1記載のエアーモーター。

【請求項3】

ストップがブロックによる正給気路又は逆給気路のいずれかの閉塞時に同じ側の正吹出

路又は逆吹出路を閉塞することを特徴とする請求項 2記載のエアーモーター。

【請求項 4】

羽根車の出力軸を中心とした対称位置に重量軽減孔が形成されていることを特徴とする  
請求項 1～3のいずれか1項に記載のエアーモーター。

【請求項 5】

正吹出路及び逆吹出路の下流端が複数に分岐されて第1室に接続されていることを特徴  
とする請求項 1～4のいずれか1項に記載のエアーモーター。